

いつもの暮らしに
最上級の心地よさを

-パッシブハウスプロジェクト第2弾-

パッシブハウス限定1棟
モニター募集!

冬あたたかく、夏すずしい。さらに光熱費やメンテナンス費を抑えた、コストパフォーマンスの良い家があれば最高!

「それ、パッシブハウスのことです」

パッシブハウスとは？

ドイツのパッシブハウス研究所が開発した設計技術に基づいて建てられた家のことです。太陽のエネルギーを活用した心地よい空間、エネルギー効率の良さにより光熱費を抑制し、環境へも配慮した家づくりです。

パッシブハウスをつくる6つの要素



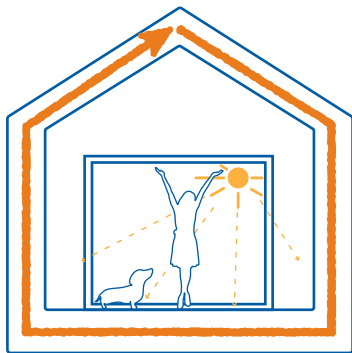
しっかり断熱



空気の漏れを
なくす



熱橋をなくす



性能の良い窓



窓の向き
日射遮蔽



熱交換換気

こんなことをうまく組み合わせると
冷房は最小限、暖房がほとんどいらなくなります。

家の断熱性能が高くなればなるほど、将来的にかかる冷暖房費のコストは下がるという関係にあります。

建設コスト + 家の燃費 + 将来コスト

を合わせたトータルコストで考えた時、
パッシブハウスは決して高くないかもしれません。

【香川初】丸亀パッシブハウスを建てた工務店の

パッシブハウス勉強会

10/30 日

11/3 木・祝

時間/両日13:30～

会場/丸亀市垂水町

パッシオパッシブヴィレッジモデルハウス

【勉強会の内容】

- 「パッシブハウス」と「パッシブデザイン」何が違う？
- smartwin「佐藤の窓」、なぜ「木の窓」？
センター
- Zehnder、普通の「エアコン」とは違うの？
- 質疑応答 など..

丸亀パッシブハウス、木製サッシsmartwin「佐藤の窓」に携わるパッシオパッシブ代表 佐藤が解説いたします。
基本は“パッシブハウス”を知って頂く、勉強会になります。
あわせてモニター募集の説明会も行います。
お気軽にご参加下さい。



講師 佐藤 大治

パッシオパッシブ代表取締役社長
2010年パッシブハウス・ジャパン(PH)加盟。
2017年に世界基準の厳しい省エネ基準をクリアし、
香川で初めてのパッシブハウス認定を受けた
「丸亀パッシブハウス」を建築。
'20年にsmartwin「佐藤の窓」の木製窓事業をスタート。

《事前予約制》



電話予約
0877-28-2855

香川・丸亀の工務店

PASSIO PASSIVE



株式会社パッシオパッシブ

〒763-0095

香川県丸亀市垂水町3145-1

TEL:0877-28-2855

FAX:0877-28-6278

パッシブハウスジャパン賛助会員
PASSIVEHOUSE JAPAN



HP: <https://passiop.com/>

パッシオパッシブ



メルマガ登録でパッシオパッシブの施工事例や
知って得するお家づくりについての情報を「シューイチ」で配信中♪

● 登録方法はホームページの



をクリック!



passiopassive



@passiopassive

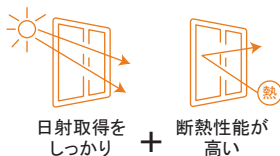
異次元な
快適さの証

「佐藤の窓」で 冬、無暖房

●【前提条件】パッシブハウスは日射取得のできる「性能のいい窓」が大事

太陽のエネルギーを窓から取り入れ、部屋を暖めることで暖房負荷を減らす。

しかし、家の中で最も熱が逃げるのも「窓」なので、断熱性能も求められる。日射取得がしっかりでき、かつ断熱性能が高い窓が理想です。



これまでの窓は

ペアガラスだと日射取得率(η 値)は上がるが、断熱性能(U値)が下がる。

トリプルガラスだと断熱性能(U値)は上がるが、日射取得率(η 値)が下がっていたのです。

● smartwin「佐藤の窓」の異次元ポイント【その①】

佐藤の窓とは？ 日射取得のできるトリプルガラス「E-CLAZ」を採用した唯一の木製窓です。

	E-CLAZ	国内トリプル		国内ペア	
		日射取得型	日射遮蔽型	日射取得型	日射遮蔽型
熱貫流率 ($W/m^2 \cdot K$)	0.52	1.10	0.78	1.50	1.50
日射取得量	0.59	0.55	0.31	0.60	0.40

ペアガラスとトリプルガラスの
“いいとこどり”のガラス「ECLAZ」で解決。
「ECLAZ」を採用した唯一の木製サッシ、
smartwin「佐藤の窓」なら・・・

「冬、無暖房で“異次元”な
快適さを実現できます」



● PHI主催パッシブハウス コンポーネントアワード3期連続優勝

PHI(パッシブハウス研究所)主催パッシブハウス
コンポーネントアワード3期連続優勝した「世界一」
の窓を使った家づくりができます。



smartwin佐藤の窓の他の異次元ポイントは「勉強会」で！

異次元な
快適さの証

センター 「Zehnder」で 夏、サラサラ

●【前提条件】家の換気は必須

普段口にしてる「食べ物」。産地がどこか、農業は使っていないか、オーガニックかなど気になりませんか？

「食べ物」が気になるなら、飲む「水」はどうでしょうか？

身体に取り込むもの。気を遣いますよね。

では、呼吸で取り込む「空気」はどうでしょうか？

実は体内に摂取する量の比率は

「食べ物」を1としたとき、「水」が3、「空気」が20と言われています。

お家の中をキレイな新鮮空気に保つことは、口にする食べ物に気を使うように、自然に行われるべきなのです。

体内に摂取する量の比率

食べ物 1 ▶▶▶

水 3 ▶▶▶

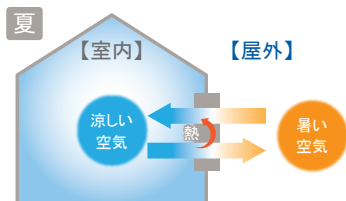
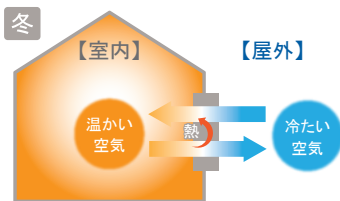
空気 20 ▶▶▶



家の中に
新鮮な空気を

熱交換換気システムの採用

換気のために窓を全開にすると、部屋の空気をキレイな空気に入れ替えることができます。しかし部屋を快適温度にするために使われた、冷暖房のエネルギーは無駄に。そんなエネルギーロスを解消するのが「熱交換換気システム」。温かい空気、冷やした空気の温度はそのままに、キレイな新鮮空気に換気します。



● Zehnderの異次元ポイント【その①】

Zehnderは熱交換換気「エアコン」をドッキングし、換気と快適な温度・湿度管理を同時に叶える、これまでなかった換気システム。「圧倒的除湿力」でパッシブハウスなら、夏、サラサラの「異次元」空間に。その高い性能でPHI認証も取得したまさに「パッシブハウス用の換気システム」です。

熱交換換気 + エアコン

家一軒Zehnder1台でOK!



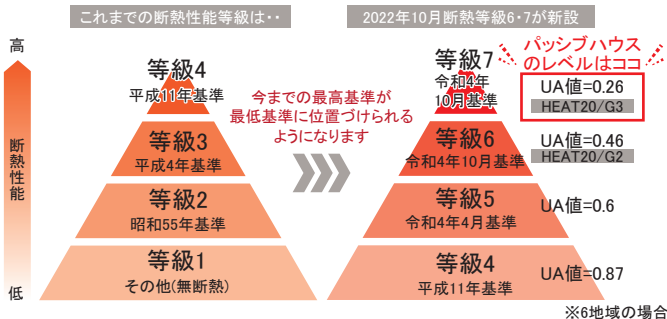
Zehnderの他の異次元ポイントは「勉強会」で!

異次元な
快適さの証

高断熱・高気密

● 今までの最高基準が最低基準になります

2022年4月より断熱等級5が新設され、2022年10月より断熱等級6・7が新設されました。これからは今まで最高基準の等級4が最低の基準と位置付けられるようになります。私たちがおすすめするパッシブハウスは最高基準の「等級7」となっています。



● パッシブハウスをつくるには「熱橋」を防ぐのがポイント

熱橋とは？ 充填断熱していても断熱材のすきまがあったり、柱の部分は断熱材がない。そこから熱が逃げてしまう・・・これが熱橋(ヒートブリッジ)です。

付加断熱で熱橋を防ぐ

熱橋による熱の逃げを防ぎたい・・・これを解決するのが“付加断熱”です。建物をぐるっと断熱材ですっぽり包み込むように施工すれば熱橋を解決できます。

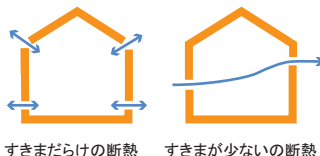


● 気密測定で断熱の施工精度がわかる

全棟気密測定実施

パッシブハウスでは、気密測定を全棟実施しています。気密測定によりC値(隙間相当面積)がわかります。この数値が小さければ隙間が少ない家となります。

隙間の少ない家ということは、隙間なく断熱施工ができており、施工の丁寧さも同時にわかります!!



まだまだある断熱・気密のお話は「勉強会」で!

自然素材

● パッシオパッシブはSDGsに取り組んでいます

住宅建築を通して、地球環境を守るためにできることを実行します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



● 断熱材にセルロースファイバーを使うワケ

セルロースファイバーは古紙を再生して作られているので、他の石油由来の断熱材と比べて製造時エネルギーが圧倒的に少ない。古紙は元を辿ると木です。木は成長する間の光合成でCO2を吸収します。ライフサイクルカーボンでは「カーボンマイナス」になる唯一の断熱材です。



● 木製サッシ「佐藤の窓」を使うワケ

日本で使用されるサッシの枠は樹脂やアルミ。枠を木に変えれば、柱50本分の木を使うことができます。国産の杉が使われた窓の需要が増えれば、CO2削減だけでなく林業再生にも貢献できると考えています。



● 家の構造材に四国県産材を使うワケ

一般的な木造住宅は輸入木材を使って建てられていることがほとんど。パッシオパッシブのお家は構造材に四国の木を使い、地産地消することで輸送時のエネルギー(ウッドマイル)が少なくなります。

● 環境壁紙や木の無垢フローリングを使うワケ

環境壁紙は自然由来の原料。お好みの色を10回程度重ね塗りできるので簡単に模様替えができます。張り替えによるゴミを減らしCO2の削減に貢献します。フローリングは一生使い続けるからこそ、本物を使いたい。心地良さは肌が触れる所から。無垢の経年変化の美しさを楽しむのもいいし、削って新しくしてもいい。



SDGsに住宅建築で貢献できるお話は「勉強会」で！